

# ついきり! めがく! 介護力。

介護職を  
募集しています。

介護福祉士 / 介護職員 / 介護奨学生



浜川 桃代さん

# 入職 3 年目

## 今だけじゃなく、 未来の社会に役立つ仕事

もともと介護業界に興味があったのですが、家族や友人など身近な人たちから「優しいから向いている」と言われたこともあり、具体的に考えるようになりました。実際に働いてみて、優しさが活かされる仕事なら例えば保育もあります。介護の“それだけではない部分”もまた自分に合っていると最近を感じるようになってきています。

入職3年目を迎え、入居者さんへの個人的なケアのほか、介護職としてのリーダー業務や、看護職、訪問介護職などとの連携など、仕事のフィールドが広がってきています。私は入職以来、認知症の方が多いエリアを担当していて、入居者さんとの意思疎通やより良いケアについて考えることも多いのですが、これが高齢化がすすむ今、そして未来の社会の実態だと感じています。

ケアの現場では入居者さんたちの笑顔に励まされて日々の業務を続けるなかで、これからの社会の役に立つ視点や思考、スキルなどが培われていく。そんなところにもこの仕事の魅力を感じています。

オフタイム  
休日の過ごし方

### 野球観戦は最高の癒です。

オフタイムにはゲーム、買い物、動画鑑賞などをして過ごすことが多いですね。そのほか子供のころからずっと変わらない趣味として、よく家族で野球観戦に行っています。家族みんなで応援する球団がありますが、中でも特定の選手を推していて、応援はもちろんグッズ購入も楽しんでいます。



島田 裕希さん

# 入職 5 年目

## 学びもチャレンジも ずっと続いていくことなんです。

私が介護の仕事に興味を持ったきっかけは、中学生の夏休みにボランティアで、障害児とプールで触れ合ったこと。そのときに彼らのことを「普通の子と変わらない」と感じ、手助けが必要な人の役に立ち、またそれを実感できる仕事に就きたいと考えました。

入職して1年目に卒1研修、2年目に卒2研修、3年目に卒3研修と段階を踏んで研修と実務に当たり、4年目にはプリセプターを経験しました。5年目の今年5月に副主任となり、今は経営面やマネジメントなどといった新しい領域でのチャレンジが始まったばかり。実践はこれからなので、どんなことができるのか、期待に胸を膨らませているところです。

5年目を迎えた今も日々、学ぶことばかりです。自らその時々々のステージに合った学びを続ける一方で、後輩や部下など人に何かを教える機会や比率が年々増えてきたと感じています。自分も周りも一緒に成長できるよう、みんなで助け合って行けたらいいですね。

オフタイム  
休日の過ごし方

### 動物カフェで充電しています。

最近結婚したばかりなのですが、妻と交際時代からよく一緒に行っているのが「動物カフェ」イヌ、ネコだけでなく、フタ、モモンガなどいろいろな動物と触れ合っています。もともと動物好きなので、とにかく癒されます。ほかにロックフェスに行くこと、アイドルを推すことなども日々の活力になっています！



飯島 凛さん

# 入職 2 年目

## この仕事があるからこそ 毎日が充実しています。

年配の方々との触れ合いは私にとって自然なことでした。曾祖母と同居し、同級生のお母さんが介護施設に勤めていたこともあり、小学校の友達と一緒にその施設が主催するお祭りに参加することもよくありました。

高校3年生のとき、祖母が入院することになり、急速に体力が衰えていく姿を見て、どう対応すればいいのかわからず悩みました。この経験が、介護の仕事に興味を持つきっかけとなりました。

高校卒業後は介護の専門学校に進学し、その後も介護の現場で多くのことを学びました。その中で気づいたのは、全てを手伝うのではなく、本人ができることをできる限り維持し、さらに増やしていくことの重要性でした。時間がかかっても自分の力でやることをサポートし、個々のニーズに応じた個別ケアを行うことで、意欲を引き出す大切さを実感しています。

AM 8:30 業務開始

配膳・食事援助  
下膳・排泄援助・身支度



10:00 ティータイム・集団体操



11:00~13:00 交代で1hのお昼休憩

PM 12:00 配膳・食事援助



13:00 13:00~15:00 クラブ活動、散歩、お風呂など

15:00 おやつ

15:00~17:30 個別ケア



17:30 日報などのデスクワークをして 業務終了

オフタイム  
休日の過ごし方

### 友達と集まるときは、焼肉が定番です！

オフタイムのお楽しみは、おいしい「お肉」！

やっぱり盛り上がるのは牛肉で、友達と集まるときにはみんなで焼肉を食べることが多いです。私は家賃補助制度を利用して、家賃と通勤時間が節約できて助かっているのですが、ひとり暮らしの生活のやりくりで苦勞せず旅行や外食が楽しめるのは本当にありがたいです。



# 未来につながる、総合キャリア支援

## 今の課題は自立です。

入職1年目はプリセプターの方が手取り足取り教えてくれますが、2年目は自立する心構えが重要だと感じています。どうすればいいかというのと、とにかく周りを見て動くこと。教えてもらうこと、指示されることを待つのではなく、自分で察して動くことですね。わからないことが現場で解決できなくても、上司、先輩やプリセプターの方などが定期的にフォローしてくれるのですごく助かっています。



山中 良太さん  
入職2年目

## 視野が広がってきました。

3年目を迎えた最近の業務で重要性を感じていることのひとつに、看護や訪問介護など介護以外に携わる別分野のプロとの連携があります。1年目は入居者さん、2年目は介護職内にあった視座が、3年目を迎えるもうひとつ上があったり、視野が広がったように感じています。入居者さんのために連携する同僚やその組織への理解を深め、より良いケアへと繋げていければと思っています。



浜川 桃代さん  
入職3年目



外国人奨学生の方々も活躍しています。

SKILL UP

## 先輩からのアドバイス

現在は所長として、人の採用や育成、事業運営に携わっています。管理職を目指す人に一番重要なことは、人の話をしっかり聞くこと、タイムマネジメントの意識を持つことだと思っています。どちらも入職1年目、介護研修の時点から意識・実践できること。上司や同僚、そして入居者さんの話を聞く、また業務が立て込むほどタイムマネジメントを意識してみると視野が広がるのではないかと思います。



石井 里実さん  
入職17年目

一緒に頑張ろう!

## 大先輩からのアドバイス

私は現在、老人保健施設の介護長として業務にあたっています。主な仕事は、施設のマネジメント、労務管理、管理者指導など。介護のほか、看護、施設運営、事務(=経営)と広い分野に関われる楽しさを感じています。多岐に渡る業務の中で、一番大事にしていることは「職員にやりがいを持って長く働き続けて欲しい」ということ。激動する時代の変化とともにさらに進化していければと思っています。



増戸 強さん  
入職22年目

サポートは任せてください。

## CAREER UP

## キャリアアップ支援



- 卒1研修
  - 卒2研修
  - 卒3研修
  - 10の基本ケア基礎研修
  - 指導・育成担当研修
  - 事業所間研修
  - 介護マネジメント研修
- ◆ 医福連介護福祉士実務者研修(東京都認定)
  - ◆ 医療生協さいたま喀痰吸引等の研修=第3号研修(埼玉県認定)
  - ◆ 認知症介護基礎研修
  - ◆ 介護福祉士資格取得支援
  - ◆ 認知症サポーターキャラバンメイト養成研修
  - ◆ 認知症介護実践者研修
  - ◆ 10の基本ケア講師育成セミナー
  - ◆ 認知症介護実践リーダー研修
  - ◆ ユニットリーダー研修
  - ◆ 介護福祉士実習指導者講習会
  - ◆ 介護支援専門員資格取得支援
  - ◆ 認知症介護指導者養成研修
  - ◆ 介護福祉士ファーストステップ研修
  - ◆ 認知症対応型サービス事業管理者研修
  - ◆ 民医連介護管理者研修会
  - ◆ 医福連介護管理者研修会
  - ◆ 認定介護福祉士養成研修

最長3年間のサポート

※プリセプター=指導育成者

## 生協10の基本ケア ~ふだんの暮らし、そのままに~

生協が大切にしている介護 尊厳を護る 自立を支援 在宅を支援

ご利用者を寝たきりへとさせず、これまでの生活が続けられるように支援します。

<p><b>1 換気をする</b></p> <p>病気予防には換気が大切。新鮮な空気を取り入れ、衛生的な環境を守り、感染症を予防します。</p>	<p><b>2 床に足をつけて座る</b></p> <p>日常生活がリハビリという考えの下、足を使って立ち上がる習慣を身につける中で、トイレやお食事などご自分でできることを増やします。</p>	<p><b>3 トイレに座る</b></p> <p>トイレで排泄する事は人間が護るべき尊厳の基本と考えます。布パンツでの暮らしをサポートします。</p>	<p><b>4 あたたかい食事をする</b></p> <p>ご自身で調理して盛りつけたり、親しい方と楽しく食べたり。誤嚥(ごえん)防止のために、食事前には口の体操も行います。</p>	<p><b>5 家庭浴に入る</b></p> <p>湯船にゆったりつかる習慣は日本のすばらしい文化。生活リハビリの効果を生かして家庭浴への入浴を大切にしています。</p>	<p><b>6 座って会話をする</b></p> <p>安心感を与えられるように座って会話をします。共に時間を過ごし、日々の見守りを行います。</p>	<p><b>7 町内にお出かけをする</b></p> <p>慣れ親しんだ地域に出かけることは社会性や精神的な豊かさを保つためにも大切なこと。これまでの生活リズムを維持できるようにします。</p>	<p><b>8 夢になれることをする</b></p> <p>自分らしく、好きなことに夢中になれる機会や、居場所づくりに取り組みます。</p>	<p><b>9 ケア会議をする</b></p> <p>ご自分の街で住み続けられるように、社会性と暮らしを守るケアプランをつくります。職員はチームでケアに取り組み、ご家族を含めサポートします。</p>	<p><b>10 ターミナルケアをする</b></p> <p>元気な時から人生の最期まで、地域との連携でご自宅でのターミナルケアをサポートします。</p>
--	--	--	---	---	---	---	--	---	---

# 医療生協さいたまでは、誰もが安心して働けるよう職員へのサポート体制を充実させています。

働きやすい環境を提供します。

## 家賃補助制度

配属先から2km圏内で  
好きなアパートが借りられます。

1～2年目	8割負担
3～7年目	5割負担
8～15年目	1割負担



斉藤 晴奈さん



広い部屋でゆったり過ごしています。

大学にも片道約1時間半ほどかけて通学していたほど実家の交通が不便で、就職と一人暮らしはセットで考えていました。家賃補助のほか、入居時の敷金、礼金といった諸費用が不要なのもありがたかったです。部屋も広く、マットを広げてヨガを楽しんだりしています。



好きなことが疲れを癒してくれます。

実家が遠く、通勤に片道2時間ほどかかることもありました。生活が落ち着き夜勤も始まる入職後約半年で初めてのひとり暮らしをスタート。家賃負担額が少なく、趣味の推し活を楽しんでいます。

宿谷 彩希さん

学生がんばれ！

## 奨学貸付金制度

介護福祉士学生の学びを応援します。

埼玉医連・医療生協さいたまの奨学貸付金制度は、学生の時から私たちが行っている介護・医療活動に触れ、その理解を深め、しっかり学業にも専念してもらえるように様々な場面で皆さんをバックアップしていく制度です。

対象  
介護福祉士資格が取得できる学科に入学予定、または在学中の方  
(選考方法:書類審査及び面接)



豊田 淳さん

月4万円

入職される方は返済不要となります。

頼りになる制度です。

高校生の時に奨学金について調べる中でこの制度を知りました。看護師のインターン経験から介護に興味があり、就職面でもプラスと考え利用しました。結果、学生時代には授業や資格取得に集中でき、今は余裕のある生活設計を実現できていて感謝しています。

短期間でも利用できます。

大学4年生の実習でお世話になった時に教えていただき、利用しました。利用期間は卒業までの数ヶ月間でしたが、ありがたかったです。入学前に申請するだけでなく、在学中、しかも4年生からと短期間でも利用できることを事前に知らなかったのが驚きました。



島田 裕希さん

女性にも男性にも

## 頼りになる育児制度

育児・介護による休業・休暇を「ファミリーサポート休業・休暇制度」と総称した制度があります。

- ・育児休業
- ・出生時育児休業
- ・介護休業
- ・不妊治療休業
- ・子の看護休暇
- ・介護休暇
- ・不妊治療休暇
- ・所定外労働の制限
- ・時間外労働の制限
- ・深夜業の制限
- ・短時間勤務
- ・復職後の勤務と年次有給休暇



釘丸 祐二さん



お父さんになりました。

立ち合い出産で1日、そして育児休暇で1ヶ月、お休みをいただきました。出産、育児の大変さを実感できたこと、育児に最初からしっかり関わられたこと、また妻の産後の体へのダメージを実感してケアできたことなど、その収穫は大きかったです。当然今も育児頑張っています！



仕事とお母さんの、両立します。

2017年に第一子を、2019年に第二子を出産。それぞれ産休・育休を取得できたほか、勤務地の希望や、時短や日勤限定など勤務時間の希望などにも配慮してもらえたこと、それが昇進に響くことなく責任ある仕事を任せてくれることなども本当にありがたく感じています。



中川 美佐子さん

